

主婦のボーナスに関する意識調査

～2016年度 冬季～

— 平成29年1月発行 —

ご回答者のプロフィール(ご年齢・お仕事・お住まい等)

この調査は、ボーナスの支給時期にあわせ、県内10市にご在住のビジネスパーソン(サラリーマン)家庭の主婦を対象として、ボーナス受給額や使いみちなどを尋ね、その意識と実態を把握するために、夏と冬の年2回実施しております。

◇調査時期：平成28年12月上旬～12月下旬

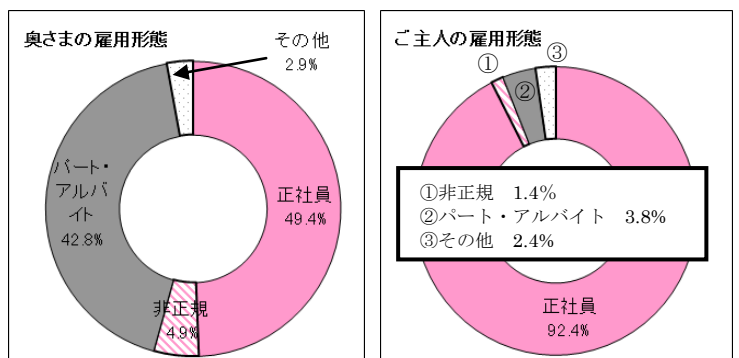
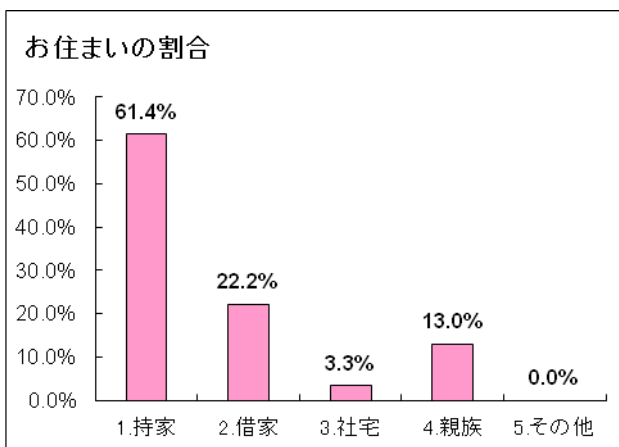
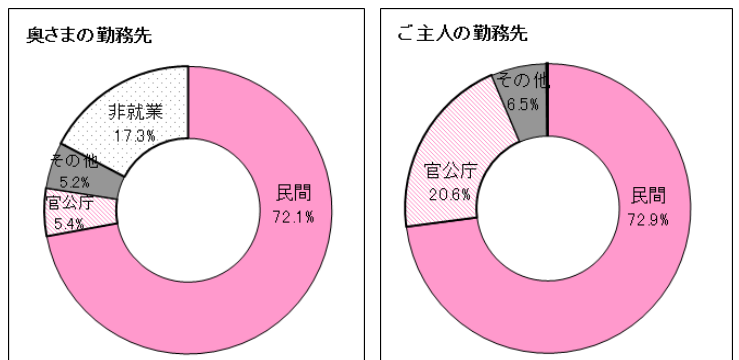
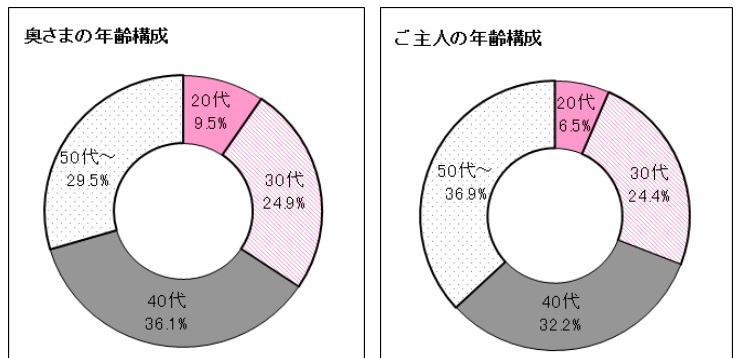
◇調査地：青森県内10市

◇調査対象者：ビジネスパーソン(サラリーマン)
家庭の主婦

◇調査対象人数：600名

◇調査方法：無記名アンケート

◇回答者数：600名(回答率100.0%)



家庭の銀行



1. ボーナスは定期的に支給されていますか？

⇒年代累計で、奥さまは6割強、ご主人は8割強に定期支給。 …P. 1

2. お互いに「ボーナスの支給明細書」を見せますか？あるいは、お互いのボーナス支給額をご存知ですか？

⇒ボーナスの支給額を知らせる割合は、奥さまは7割弱、ご主人は9割弱。 …P. 1

3. この冬のボーナスの額は、前年と比べて増えましたか？減りましたか？

⇒支給環境は概ね改善。 …P. 2

4. ボーナスの支給額(または予想額)は？また、希望額はいくらですか？

⇒支給額と希望額との乖離は2. 9万円。乖離額は縮小し、若干暮らし向きは改善。 …P. 2

5. 「貯蓄」「投資」「ローン返済」「消費」にどう配分しますか？

⇒全年代で「貯蓄」→「消費」→「ローン返済」→「投資」の傾向は前年と変わらず。 …P. 3

6. ボーナスを「貯蓄」や「投資」にあてる場合、それはどのような目的から？

⇒「教育資金」、「老後の備え」、「病気・災害への備え」が、上位3項目を占める。 …P. 4

7. ボーナスを「貯蓄」「投資」する場合、どの金融商品を選びますか？

⇒銀行や信用金庫などの預金商品に人気が集まる傾向は前年と変わらず。 …P. 5

8. 金融商品をお選びになる際に、重視するポイントは何ですか？

⇒「流動性」→「安全性」→「収益性」の傾向は前年と変わらず。

…P. 6

9. 現在、ローンをご利用されていますか？

そのローンの種類は何ですか？

⇒ローン利用割合は前年と比べて増加。

住宅ローン・自動車ローン・カードローンが上位3項目を占める傾向は変わらず。 …P. 7

10. この冬、ボーナスで何をお買い求めになりますか？

⇒衣料品全般が上位を占める傾向は前年と変わらず。 …P. 8

11. この冬のボーナスから、ご家族へのお小遣いにあてる予定はありますか？

⇒奥さまは3割弱がお小遣いあり。

平均額は5. 1万円。

ご主人は4割強がお小遣いあり。

平均額は5. 8万円。

子どもは1割強がお小遣いあり。

平均額は2. 5万円。

割合・金額ともに、奥さま・ご主人・子どものいずれも増加。 …P. 9

12. この冬、ご旅行・レジャーなどのご予定はありますか？予定がある場合、どのくらいの日数、金額をかけますか？

⇒「予定あり」割合は前年より大幅に増加。

行き先の首位は前年と変わらず「国内旅行」。

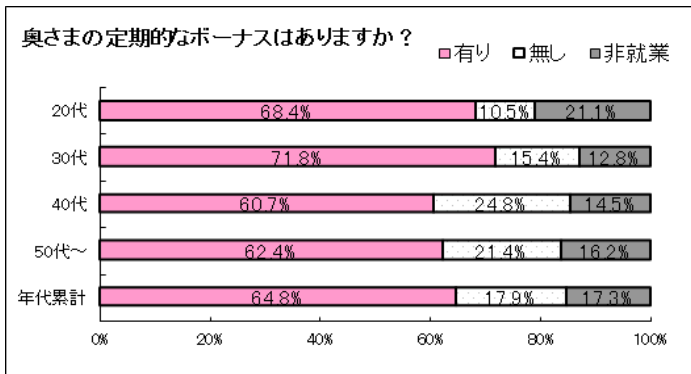
日数は「2～4日」が突出。

総費用は平均11. 4万円と前年と比べ減少。

…P. 10、11

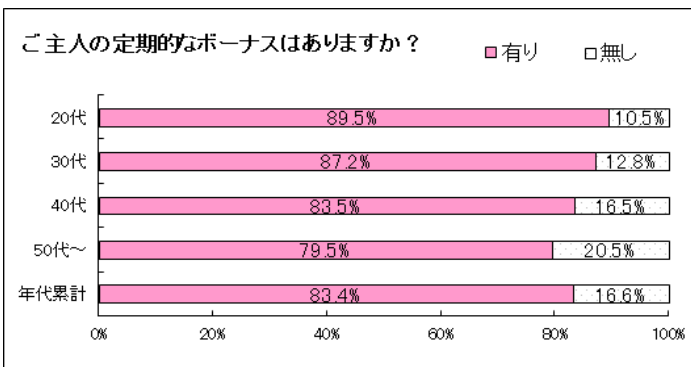
1. ボーナスは定期的に支給されていますか？

⇒年代累計で、奥さまは6割強、ご主人は8割強に定期支給。



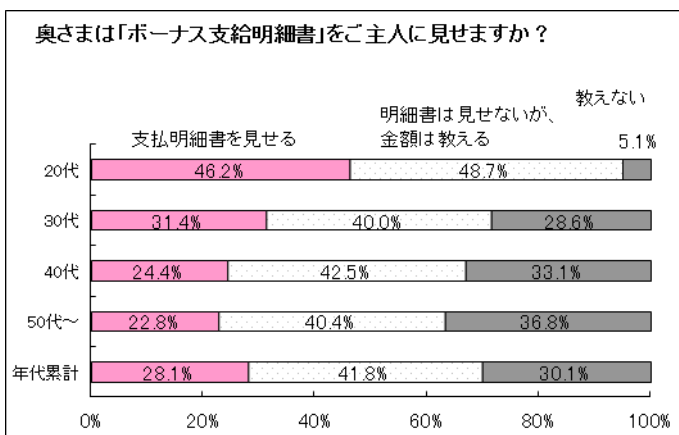
奥さまとご主人の、定期的な冬季ボーナスの有無について尋ねたところ、年代累計において「ある」という回答割合は、奥さまは64.8%、ご主人は83.4%となった。

昨年の同時期に実施した調査では、年代累計において「ある」という割合は、奥さまは64.8%、ご主人は80.2%であったことから、昨年の冬と比較すると奥さまは同水準で変化がなく、ご主人は3.2ポイント増加と改善した。



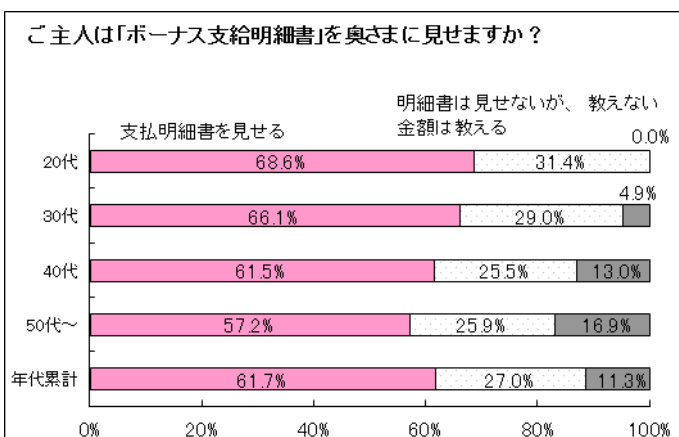
2. お互いに「ボーナスの支給明細書」を見せていますか？

⇒ボーナスの支給額を知らせる割合は、奥さま・ご主人ともに微減。



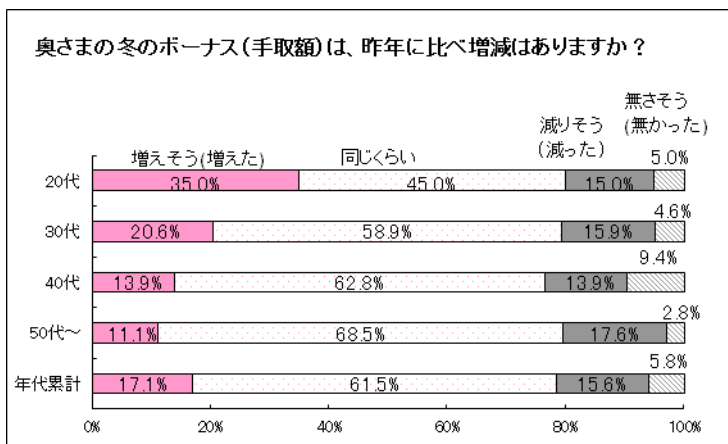
「お互いにボーナスの支給明細書を見せていますか？あるいは、お互いのボーナス支給額をご存知ですか？」と尋ねたところ、年代累計において「支給明細書を見せる」と「明細書は見せないが金額は教える」との合計は、奥さまは69.9%(前年比▲0.9ポイント)、ご主人は88.7%(同▲0.8ポイント)と、ともに僅かではあるが減少した。

「支給明細書を見せる」単独でみると、奥さまは28.1%(同+3.2ポイント)、ご主人は61.7%(同+2.3ポイント)と、ともに増加した。



3. この冬のボーナス額は、前年と比べて増えましたか？減りましたか？

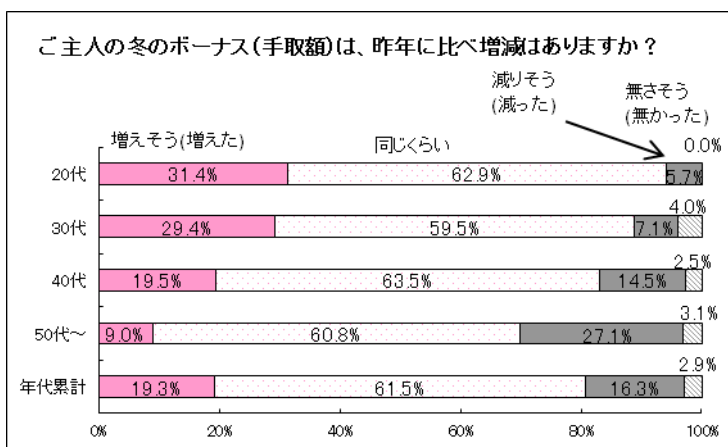
⇒支給環境は概ね改善。



「この冬のボーナスの手取り額は、昨年と比べてどうでしたか？(まだ支給されていない場合は、どうなると予想されますか?)」と尋ねたところ、年代累計では「増えそう(増えた)」との回答割合は、奥さまは17.1%(前年比+4.2ポイント)、ご主人は19.3%(同+5.4ポイント)と、奥さま、ご主人ともに増加した。

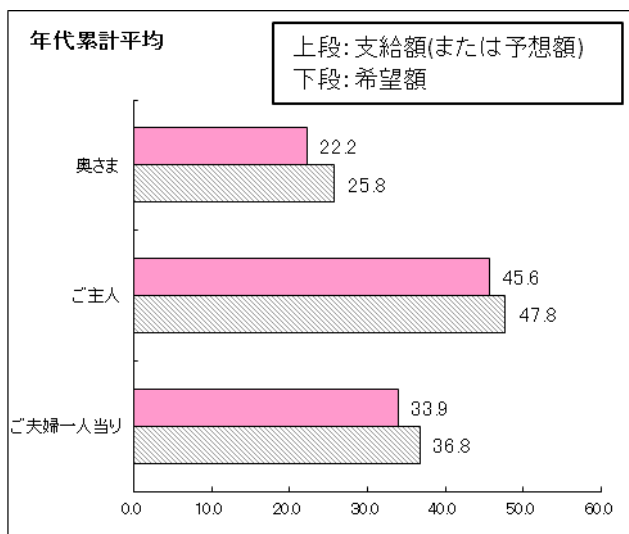
一方で、「減りそう(減った)」の合計の回答割合をみると、奥さまは15.6%(同▲3.4ポイント)と減少し、ご主人は16.3%(同+0.9ポイント)とわずかながら増加した。

以上より、前年と比べてこの冬のボーナス支給環境は、概ね改善した。



4. ボーナスの支給額(または予想額)は？また希望額はいくらですか？

⇒支給額と希望額との乖離は2.9万円。乖離額は縮小し、若干暮らし向きは改善。

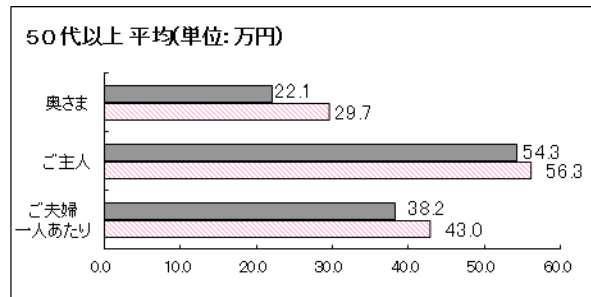
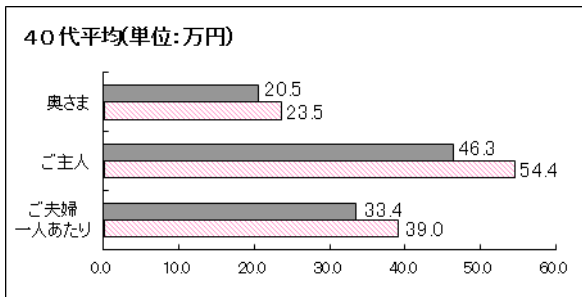
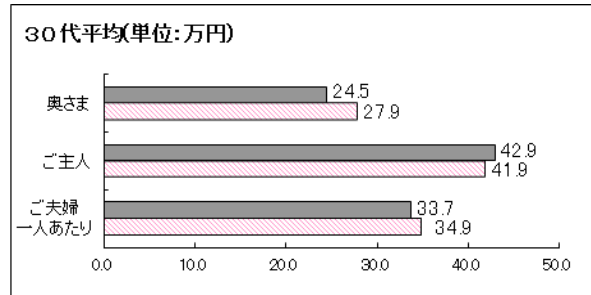
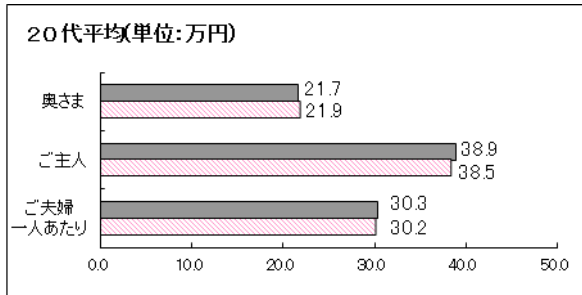


実際の支給額(または予想額)に対し、「家計の収支計画で、最低限この程度は欲しいと希望される金額はいくらですか?」と尋ねたところ、年代累計において、奥さまは25.8万円(支給額・予想額より+3.6万円)、ご主人は47.8万円(同+2.2万円)、夫婦一人当りの平均では36.8万円(同+2.9万円)となった。

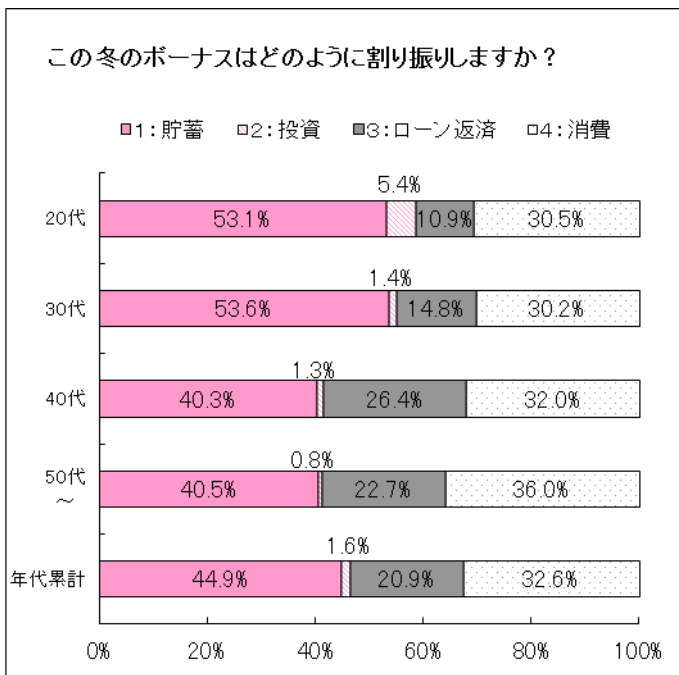
ご夫婦一人当たりにおける希望額と実際の支給額との間には2.9万円の乖離がみられたものの、前年冬の調査における乖離額(3.6万円)から縮小し、暮らし向きはわずかに改善が見られた。

同様に、年代別でご夫婦一人当りの支給額(または予想額)と希望額の乖離をみると、20代平均は0.1万円(前年乖離額0.7万円)、30代平均は1.2万円(同2.3万円)、40代平均は5.6万円(同7.1万円)、50代以上の平均は4.8万円(同5.5万円)と、いずれの世代も乖離額は縮小した。

上段:支給額(または予想額)
下段:希望額



5. 「貯蓄」「投資」「ローン返済」「消費」にどう配分しますか? ⇒全年代で「貯蓄」→「消費」→「ローン返済」→「投資」の傾向は前年と変わらず。

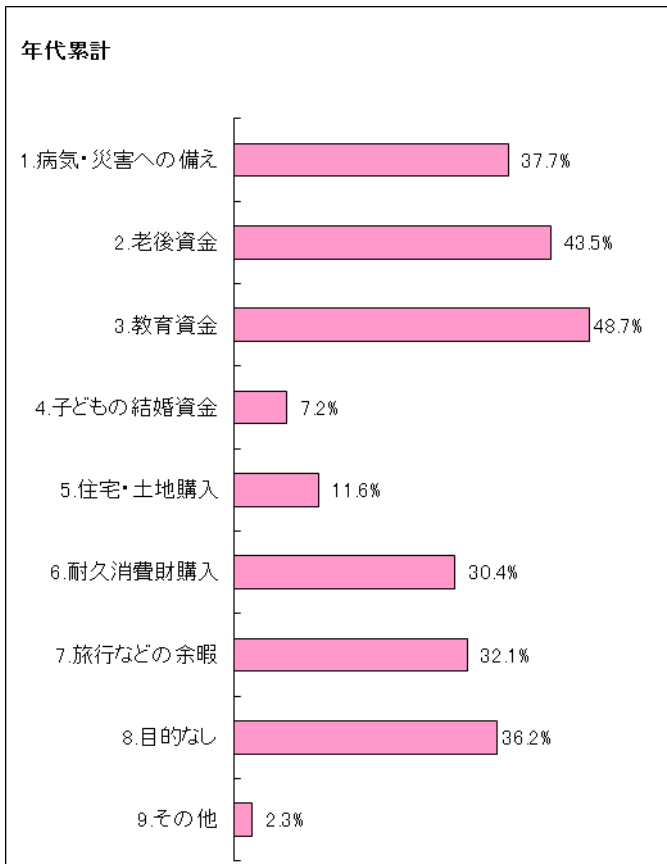


「ボーナスのお使いみちを『貯蓄』『投資』『ローン返済』『消費』の4つに分けた場合、どのように割り振りますか?」と尋ねたところ、年代累計において最も割合が高かったのは「貯蓄」の44.9%(前年比+1.6ポイント)、次いで「消費」の32.6%(同▲0.9ポイント)、「ローン返済」の20.9%(同▲0.6ポイント)、「投資(株式や投資信託などの購入)」が1.6%(同▲0.1ポイント)の順となった。

家計負担が大きくなる40代・50代以上は「ローン返済」や「消費」に回す比重が高くなっている傾向は変わっていない。

また、全年代で「貯蓄」→「消費」→「ローン返済」→「投資」といった優先順位は、前年から変化は見られない。

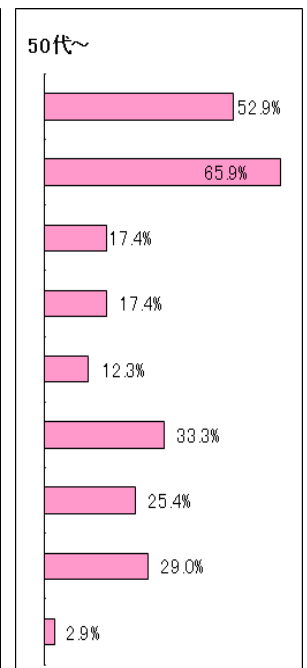
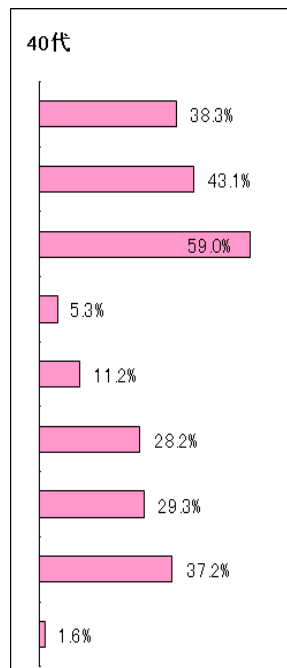
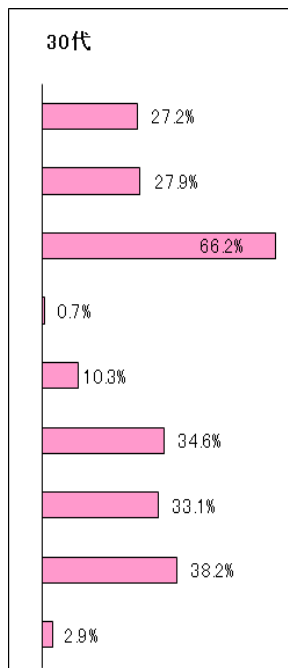
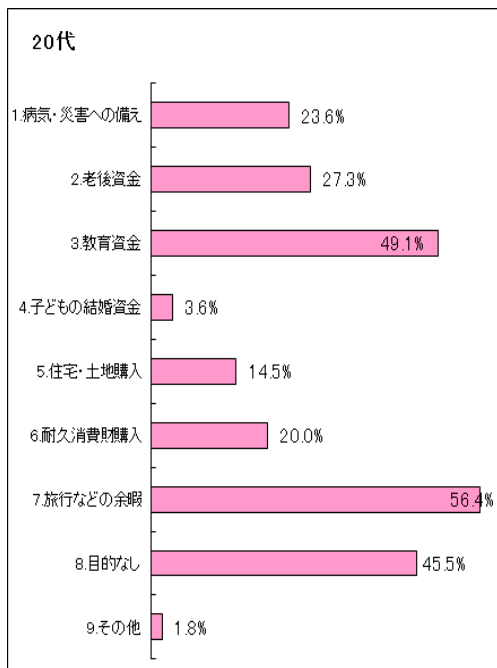
6. ボーナスを「貯蓄」や「投資」にあてる場合、それはどのような目的から？
 ⇒ 「教育資金」、「老後の備え」、「病気・災害への備え」が上位3項目を占める。



「ボーナスを貯蓄や投資にあてる場合、それはどのような目的からですか？(最大3つまでの複数回答)」と尋ねたところ、年代累計において、「子どもの教育資金」が48.7%(前年比▲1.0ポイント)で前年に引き続き1位となった。次いで、「老後資金」が43.5%(同+4.5ポイント)で2位、「病気・災害への備え」が37.7%(同▲0.9ポイント)で3位となった。

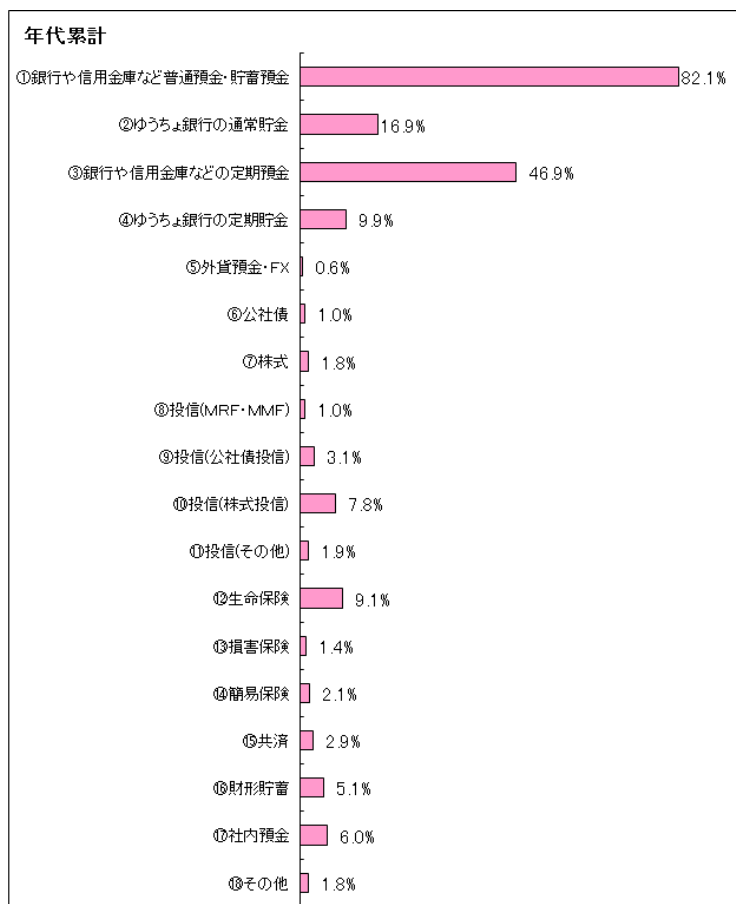
年代別の特徴としては、「教育資金」が20代~40代で高く、「旅行などの余暇」は20代で最も高い。

また、「老後資金」と「病気・災害への備え」は年代が高くなる順に割合も高くなっている。



7. ボーナスを「貯蓄」「投資」する場合、どの金融商品を選びますか？

⇒銀行や信用金庫などの預金商品に人気が集中する傾向は前年と変わらず。

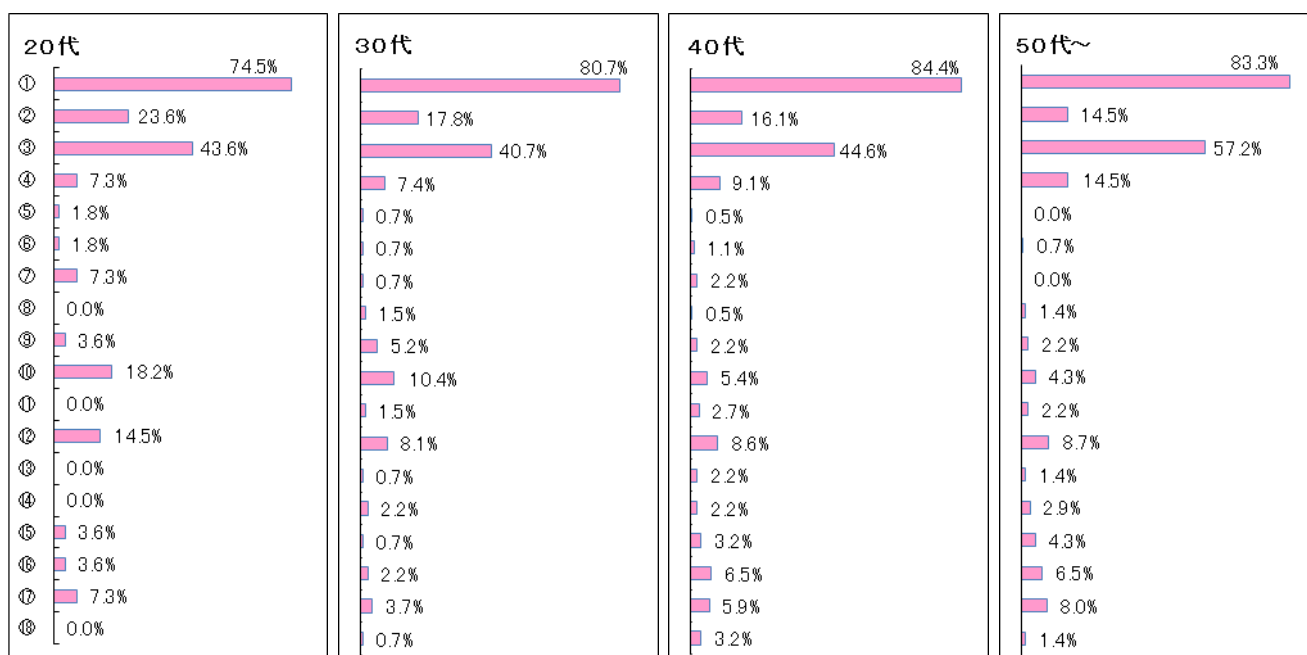


「ボーナスを貯蓄・投資にあてる場合、どのような金融商品をお選びになりますか？(最大5つまでの複数回答)」と尋ねたところ、年代累計において、「①銀行や信用金庫など普通預金・貯蓄預金」が82.1%(前年比+4.5ポイント)で1位、「③銀行や信用金庫の定期預金」が46.9%(同▲11.5ポイント)で2位となった。

また、「②ゆうちょ銀行の通常貯金」が16.9%(同+1.3ポイント)で3位、「④ゆうちょ銀行の定期貯金」が9.9%(同▲4.5ポイント)で4位となった。

1~4位の順位は前年と変わっておらず、年代別にも、全年代で「普通預金・貯蓄預金」と「定期預金」の割合が突出しており、例年と同じ傾向が続いていることが窺われる。

投資関連(⑤~⑭)の割合は、29.8%と前年冬に比べ0.6ポイントの増加にとどまり、投資意欲の高まりは見られなかった。



8. 金融商品をお選びになる際に、重視するポイントは何ですか？（複数回答可）

⇒「流動性」→「安全性」→「収益性」の傾向は前年と同様。

「金融商品をお選びになる際に、重視するポイントは何ですか？(最大 3 つまでの複数回答)」と尋ねたところ、年代累計における各項目の回答割合は以下のとおりとなった。

【流動性】

◇預け入れ・払い出しが自由なことができること…62.5%(前年比+1.4ポイント)

◇必要なときにすぐに現金に換えられること…53.9%(同▲4.3ポイント)

〈小計…116.4%(前年比▲2.9ポイント)〉

【安全性】

◇元本が保証されていること…55.4%(同+3.1ポイント)

◇取扱金融機関に信用があり、安心して預けられること…21.7%(同▲4.0ポイント)

〈小計…77.1%(前年比▲0.9ポイント)〉

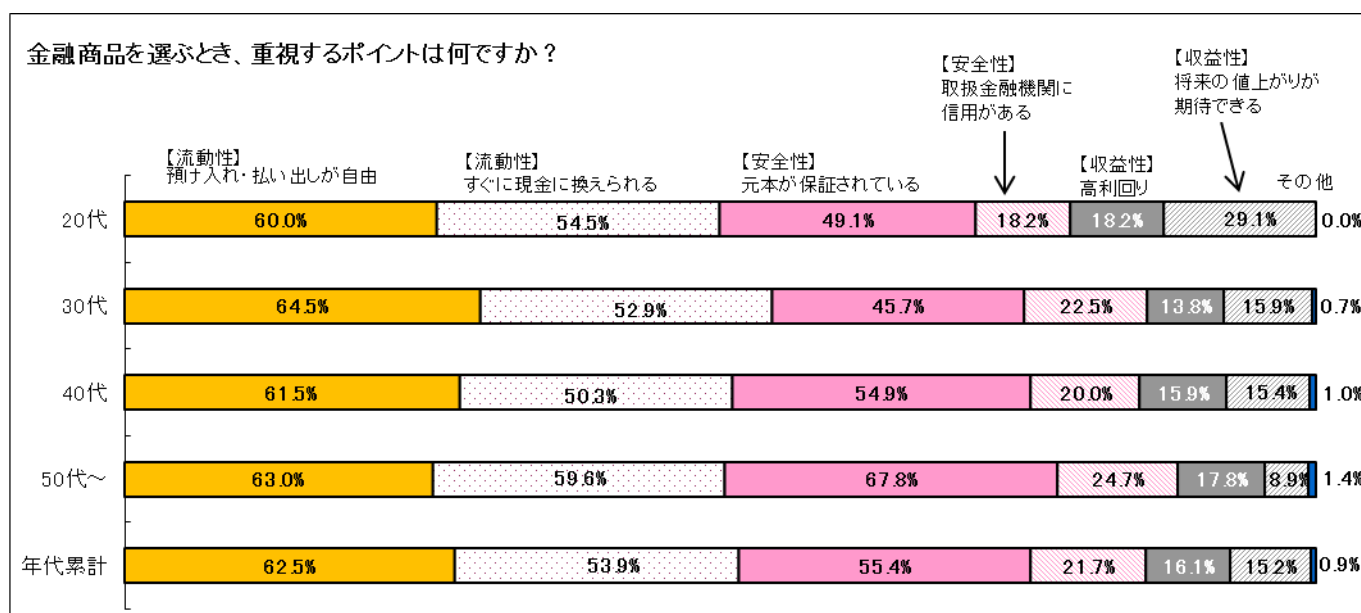
【収益性】

◇高利回りであること…16.1%(同▲0.8ポイント)

◇将来の値上がりが期待できること…15.2%(同+2.4ポイント)

〈小計…31.3%(前年比+1.6ポイント)〉

この結果をみると、重視するポイントの順序として、「流動性」→「安全性」→「収益性」の順となる傾向は前年の冬と同様である。

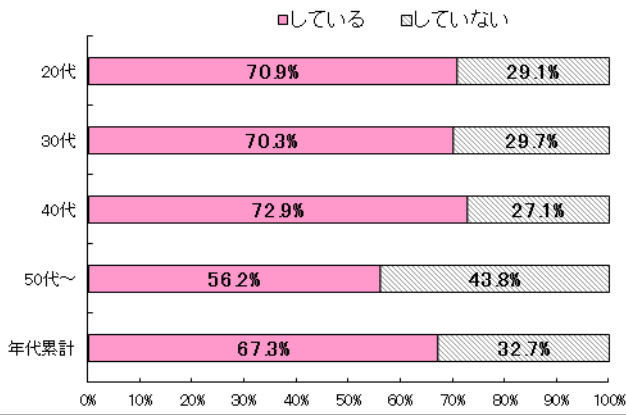


9. 現在、ローンをご利用されていますか？そのローンの種類は何ですか？

⇒ローン利用割合は前年と比べ、増加。

住宅ローン・自動車ローン・カードローンが上位3項目を占める傾向は変わらず。

現在、何らかのローンをご利用されていますか？



「ご家庭では現在、何らかのローンをご利用されていますか？」と尋ねたところ、年代累計において、「利用している」の回答割合は67.3%(前年比+3.6ポイント)となった。

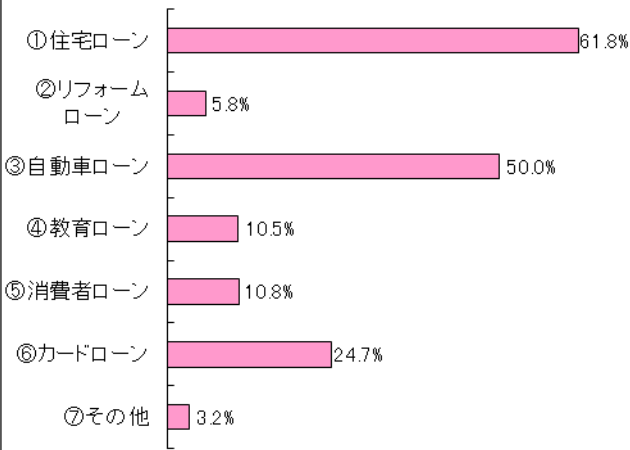
年代別では、20代が70.9%(前年比+1.7ポイント)、30代が70.3%(同+0.6ポイント)、40代が72.9%(同+2.1ポイント)、50代以上が56.2%(同+5.7ポイント)であった。

また、上記質問について、「利用している」と回答した方に対し、「そのローンの種類は何ですか？(複数回答)」と尋ねたところ、年代累計において、「①住宅ローン」が61.8%(前年比+5.8ポイント)で1位となった。次いで、「③自動車ローン」が50.0%(同▲3.9ポイント)で2位、「⑥カードローン」が24.7%(同▲6.2ポイント)で3位となった。

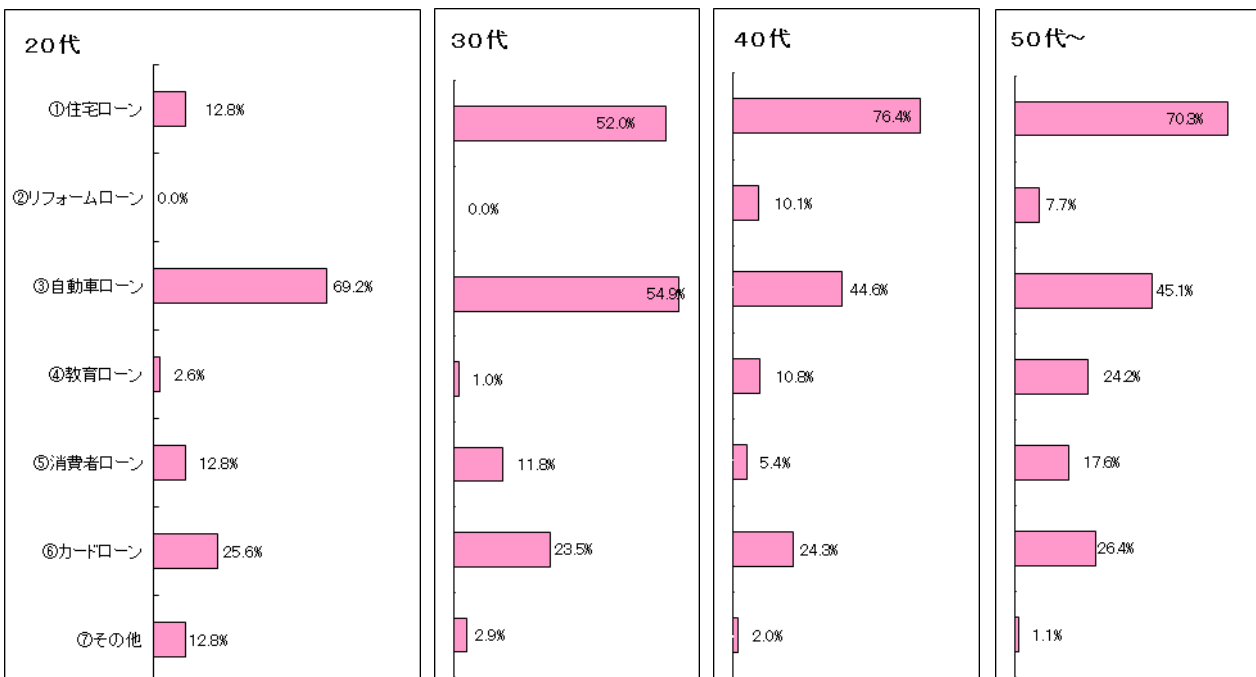
「住宅ローン」→「自動車ローン」→「カードローン」の順は前年と変わらず。

年代別にみると、「①住宅ローン」はマイホームを所有し始める30代以降の年代で割合が高く、「③自動車ローン」や「⑥カードローン」は、各年代で相応のニーズが見られている。

利用しているローンの種類は？(年代累計)

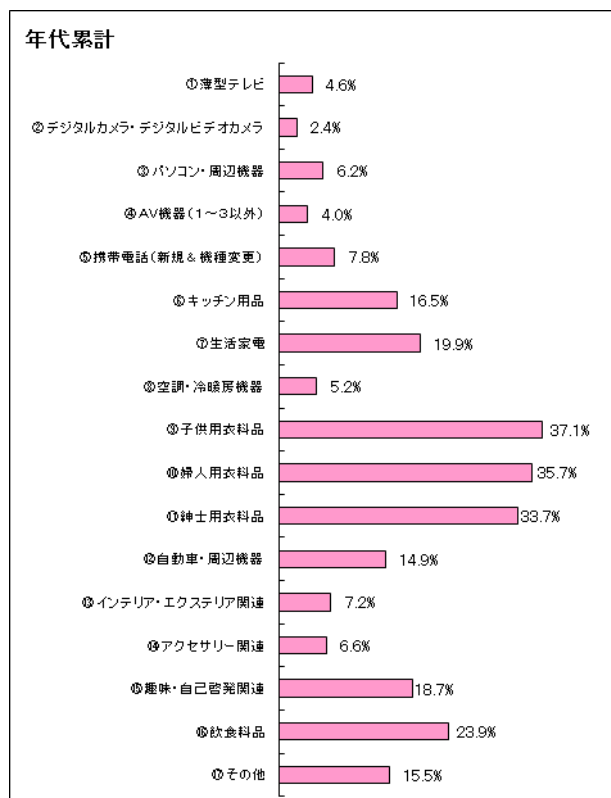


利用しているローンの種類は？



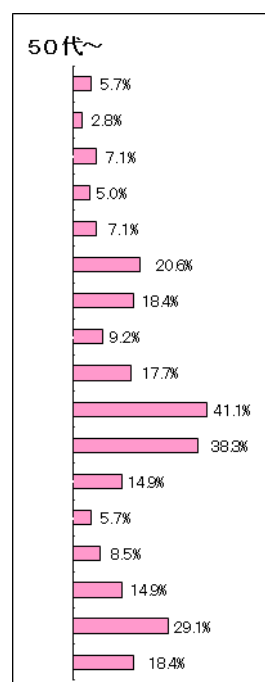
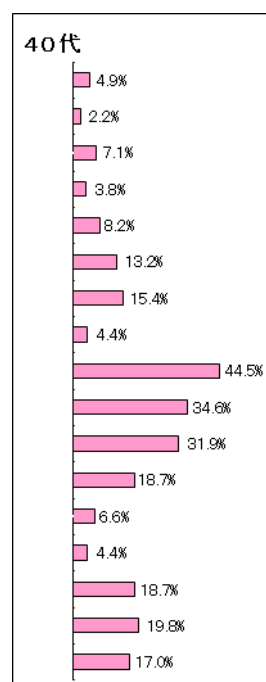
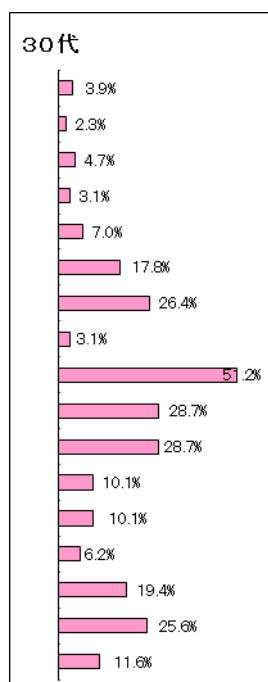
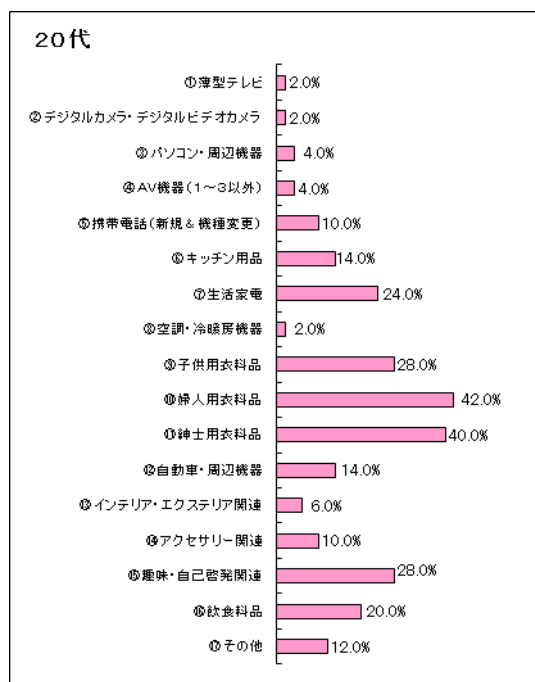
10. この冬、ボーナスで何をお買い求めになりますか？

⇒衣料品全般が上位を占める傾向は前年と変わらず。



「この冬のボーナスで、何をお買い求めになりますか？(最大5つまでの複数回答)」と尋ねたところ、年代累計において、割合の高かった項目から順に、「⑨子供用衣料品」が37.1%(前年比+2.1ポイント)、「⑩婦人用衣料品」が35.7%(同▲7.4ポイント)、「㉑紳士用衣料品」が33.7%(同▲7.9ポイント)となり、前年の冬と同様に、衣料品関連が上位を占めた。

年代別に見ても、衣料品関係が上位にランクインする傾向は各年代に共通している。



1 1. この冬のボーナスから、ご家族へのお小遣いにあてる予定はありますか？

⇒奥さまは3割弱がお小遣いあり。平均額は5.1万円。

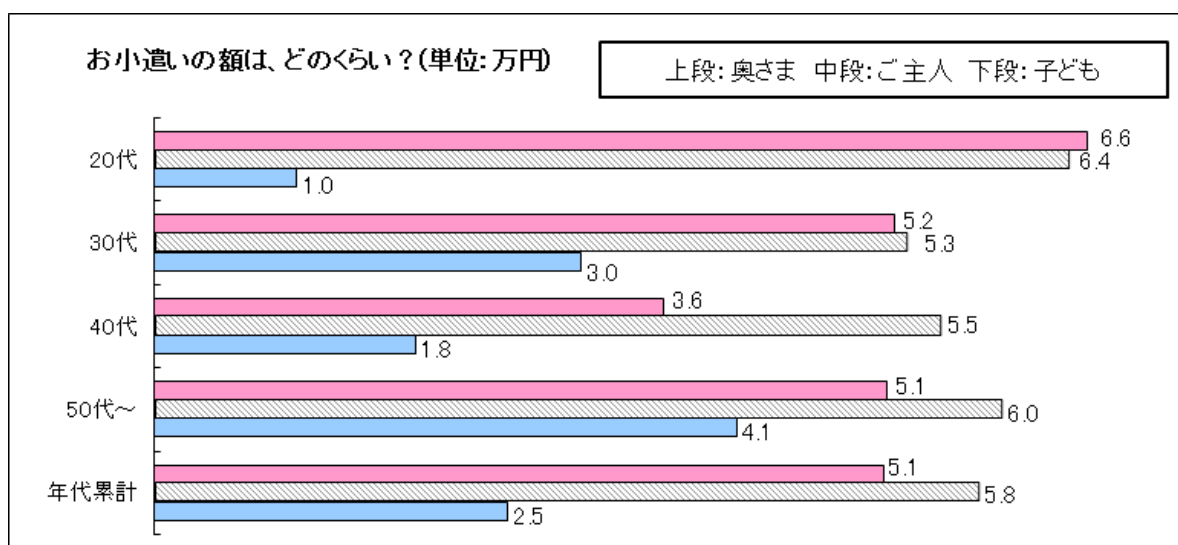
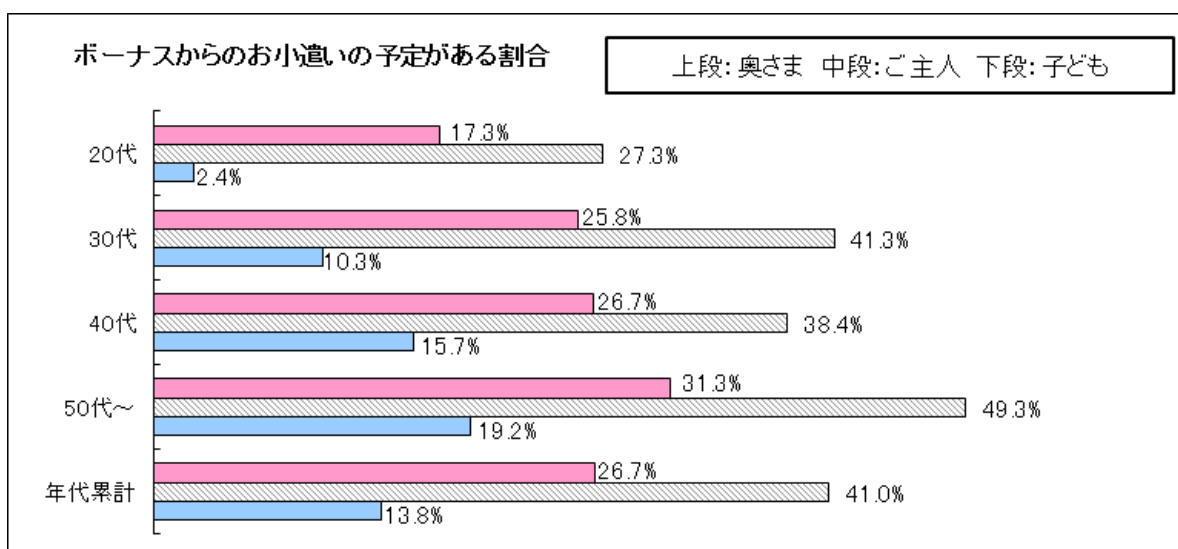
ご主人は4割強がお小遣いあり。平均額は5.8万円。

子どもは1割強がお小遣いあり。平均額は2.5万円。

お小遣いの予定がある割合は、奥さま、ご主人、子どものいずれも前年に比べて増加。金額についても、いずれも前年に比べて増加。

「この冬のボーナスから、ご家族のお小遣いにあてるご予定はありますか？また、その金額はおいくらですか？」と尋ねたところ、年代累計において、「予定あり」の回答割合は、奥さまが26.7%(前年比+3.7ポイント)、ご主人が41.0%(同+5.2ポイント)、子供が13.8%(同+2.2ポイント)と、それぞれで増加した。

また、その平均額をみると、奥さまが5.1万円(前年比+0.7万円)、ご主人は5.8万円(同+0.3万円)、子供は2.5万円(同+1万円)と、金額もそれぞれで増加した。



12. この冬、ご旅行・レジャーなどのご予定はありますか？

予定がある場合、どのくらいの日数、金額をかけますか？

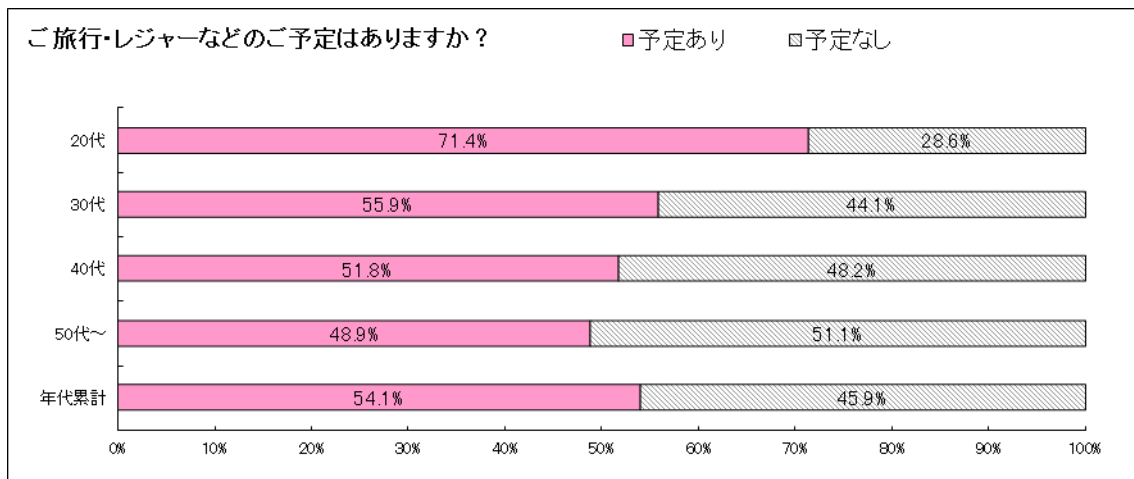
⇒「予定あり」割合は前年より大幅に増加。

行き先の首位は前年と変わらず「国内旅行」。

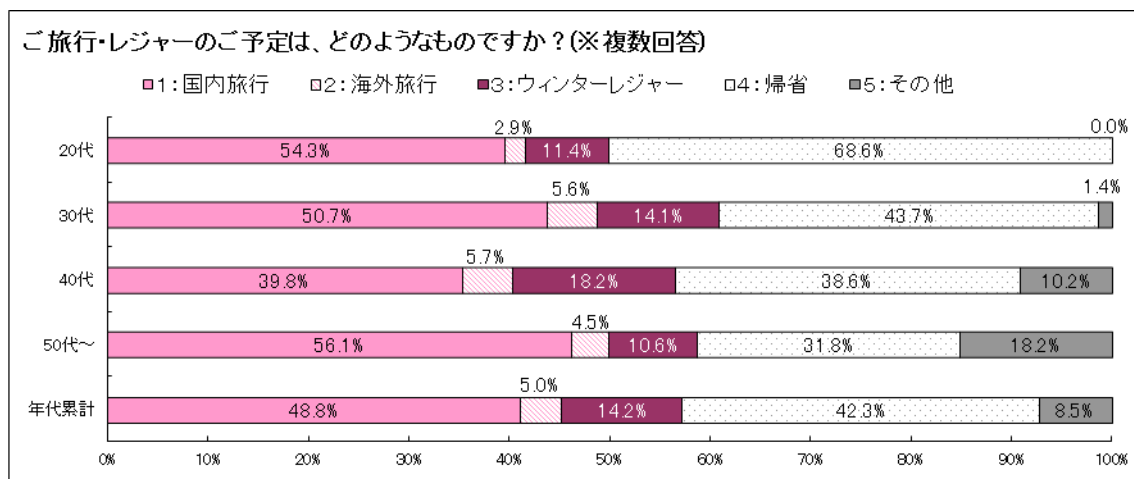
日数は、「2～4日」が突出。総費用は平均11.4万円と前年と比べ減少。

「この冬は、ご旅行・レジャーなどのご予定はありますか？」と尋ねたところ、年代累計において、「予定あり」が54.1%（前年比+16.6ポイント）と大幅に増加した。

年代別にみると、20代が71.4%（前年比+17.6ポイント）、30代が55.9%（同+14.4ポイント）、40代が51.8%（同+16.9ポイント）、50代以上が48.9%（同+17.3ポイント）となり、全年代で増加となった。

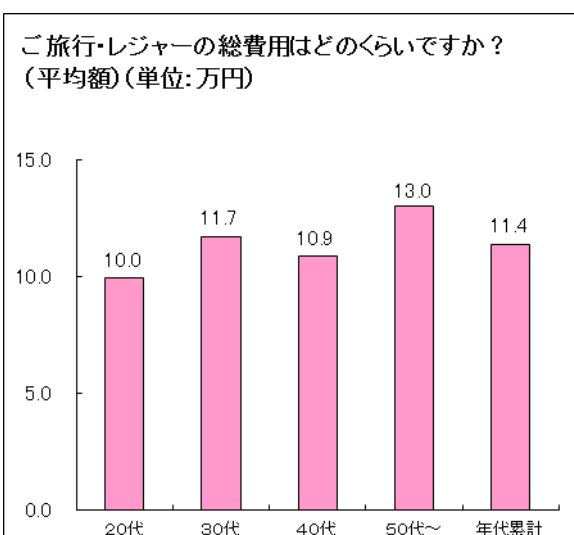
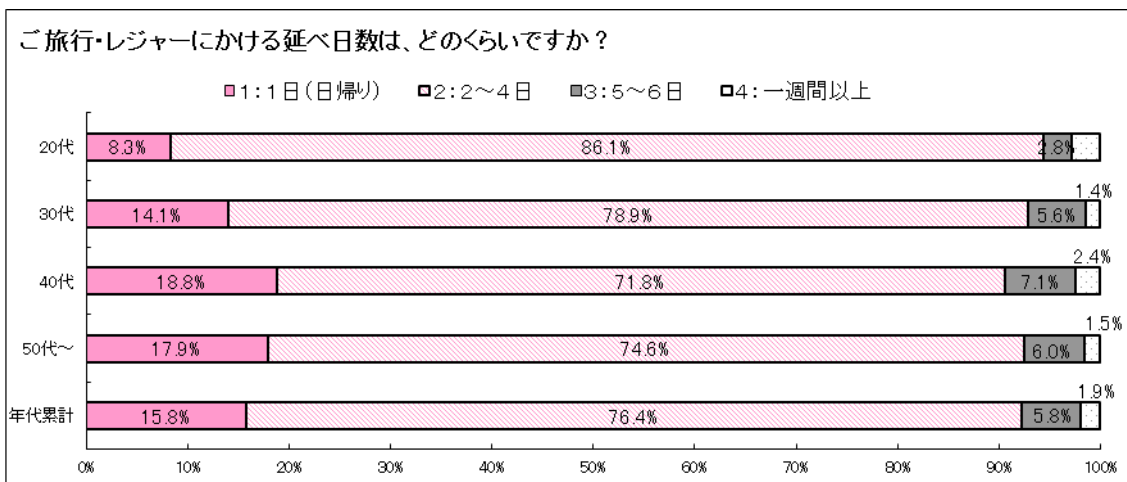


前記の質問に対し「予定あり」と回答した方に対し、「ご旅行・レジャーのご予定はどのようなものですか？（複数回答）」と尋ねたところ、年代累計において「国内旅行」が48.8%（前年比+5.9ポイント）で1位、「帰省」が42.3%（同▲3.2ポイント）で2位、「ウインターレジャー」が14.2%（同▲4.6ポイント）で3位となり、前年と同様の傾向となった。また、海外旅行は5.0%（同▲1.7ポイント）とわずかに減少した。



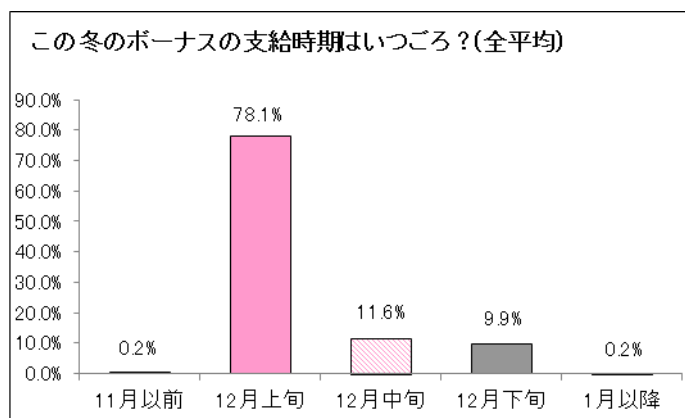
続いて、「ご旅行・レジャーにかかる延べ日数は、どのくらいですか？」と尋ねたところ、年代累計において「2～4日間」が76.4%(前年比▲0.6ポイント)と1位となった。次いで、「1日(日帰り)」が15.8%(同▲0.5ポイント)と2位、「5～6日」が5.8%(同+0.6ポイント)で3位となった。「1週間以上」は1.9%(同+0.3ポイント)と微減となった。

「2～4日間」→「1日(日帰り)」→「5～6日」→「1週間以上」の順は前年と変わっていない。



最後に、「ご旅行・レジャーにかかる総費用はどのくらいですか？」と尋ねたところ、年代累計における平均額は11.4万円(前年比▲0.7万円)と前年に比べ減少した。

年代別にみると、30代が11.7万円(前年比+1.3万円)、50代以上が13.0万円(同+2.8万円)と増加したものの、20代が10.0万円(前年比▲6.1万円)、40代が10.9万円(▲0.6万円)と減少した。



発行：株式会社みちのく銀行 経営企画部 広報室
〒030-8622 青森市勝田1丁目3-1
TEL：017-774-1274